

編輯後記

○多事であつた昭和十三年度も無事終期に近づき、愈々東亞建設の大事業に邁進すべきの時に當り、我が漢文學會が會報第九號を世に送り、以て邦家の爲に微力を致し得るは欣快の至りと存じます。

○御多忙中よく玉稿を賜りたる諸橋先生、小野先生、上島、小澤吉田、三先輩、並びに卒業學年佐川君の御厚志を衷心より感謝申し上げます。

○折角誕生を見た文苑に、どしどし御投稿下さつて、編輯子が玉稿採擇に苦しむ日の到來することを希求致して居ります。

○不日にして社會の人となられる優秀なる卒業生諸兄の前途を祝し、他日會報上での御活躍をも切望致します。

○編輯不備については御忌憚なく、高教の程を願ひます。

(昭和十四年二月二十八日夜 大島記)

漢文學會々報 第九號

昭和十四年三月廿日 印刷
昭和十四年三月廿五日 發行

【非賣品】

東京文理科大學 漢文學會
編輯者 田 口 聖 一

東京市小石川區久堅町一〇八
印刷所 共同印刷株式會社

東京市小石川區大塚窪町
印刷人 君 島 潔

發行所 東京文理科大學漢文學會